

昭和60年度文化財パトロール実施件数

教育事務所	地 区	市町村数	パトロール対象箇所数	管内計	パトロール実施件数(年2回)
県北	福島達達	1	30	90	180
		9	30		
		7	30		
県中	山瀬川村	1	37	130	260
		5	32		
		5	31		
		7	30		
県南	白河川	7	35	70	140
		5	35		
会津	津沼	4	29	150	300
		5	29		
		4	31		
		4	33		
		4	28		
南会津	西部	4	17	35	70
		3	18		
相双	相双	4	25	80	160
		3	28		
		7	27		
いわき	いわき	1	30	57	114
			27		
計	21	90	612	612	1,224

② 文化財保護指導者講習会

ア 趣 旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、文化財保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い市町村における文化財保護行政の進展に資する。

イ 主 催

福島県教育委員会・三春町教育委員会

ウ 期日及び会場

昭和60年7月25日(木)～26日(金)
三春町公民館

エ 講習内容及び講師

(ア) 講 義

⑦ 歴史資料について

(財)福島県文化センター歴史資料課長 菅田 宏

④ 久川城跡の指定と保存

伊南村教育委員会教育長 大 桃 博

⑦ 地名研究の動向と調査の方法

千葉大学助教授 谷 川 彰 英

⑤ 歴史民族資料館の役割

三春町歴史民族資料館長 松 本 登

④ 天然記念物の保存

(財)県総合緑化センター参事 安 藤 英 雄

⑦ 縄文人の食生活

名古屋大学助教授 渡 辺 誠

(イ) 施設見学

三春町歴史民族資料館

2 文化財保存調査の推進

① 歴史の道保存調査

古くから文物や人物の交流の舞台となってきた道・水路は、わが国の歴史を理解する上で極めて大切な意味をもつものである。このため、57年度から3年計画であったものをさらに1年延長し、県内の「歴史の道」ともいべき江戸時代以前の古い道、河川等と、それに沿う地域に残されている歴史的遺産を周囲の環境を含めて、総合的かつ体系的に調査を行っている。

○調査年度 昭和57年度～昭和60年度

○調査対象 4か年で16街道

○昭和60年度調査街道 沼田街道、八十里越、六十里越

○昭和60年度調査員

専門調査員 県文化財保護審議会委員

安 田 初 雄

同 (財)県文化センター歴史資料課長

菅 田 宏

地区調査員 5名

「歴史の道」調査一覧表

調査年度				番 号	街 道 名	路 離 km	区 間	参 考
57	58	59	60					
○				1	奥 州 道 中	120	白坂—白河—郡山—福島—貝田(仙台方面へ)	奥州諸大名参勤交代の道
		○		2	浜 街 道	120	酒井—窪田—平一—小高—相馬—新地(仙台方面へ)	浜通り主要街道
○				3	米 沢 街 道	30	八丁目(松川)—平田—大森—庭坂(米沢へ)	羽州街道の脇街道
○				4	羽 州 街 道	10	桑折—小坂—小坂峠(山形・秋田方面へ)	出羽国の大道
		○		5	水 戸 街 道	61	矢吹—棚倉—東館(矢祭)(水戸・常陸太田方面へ)	古代文化伝播の道
○				6	相 馬 街 道	66	本宮—針道—比曾—飯樋—草野—中村	中通りへの塩の道